

ハット市のみどころ

豊かな自然に恵まれ、美しい海岸線での海水浴やマリンスポーツ、ハット川沿

美しい海岸線

いや林間のハイキング、乗馬やゴルフも盛んです(ゴルフ場は6ヶ所あります)。

文化施設としては、ニューダウス美術館は国内有数の

現代美術館であり、ペトローネ開拓者記念館はイギリスからの組織的開拓団が初めて上陸した地として、記念品が展示されています。

ペトローネ開拓者記念館



マオリ文化を体験するにはヘテ・マオリ学習美術館が最適です。近年では、映画「ロード・オブ・ザ・リング」の衣装を飾った美しい羊毛を育てた一家の物語、スタンスボロのツアーが人気です。

交通のご案内

<関西国際空港からウェリントン空港まで>

関西国際空港 → オークランド空港(国際線):
約10時間半(ノン・ストップ/日本航空とニュージーランド航空が運航)

オークランド空港 → ウェリントン空港(国内線):
約1時間

<ウェリントン空港から友好ハウスまで>

ウェリントン空港から車で25分、またはバスでウェリントン駅に行き、電車に乗り換えウェスタン・ハット駅から歩いて10分



ハット市およびウェリントン市周辺

ニュージーランド

お問い合わせ・ご予約

日本国内

● (公財) 箕面市国際交流協会

住所 〒562 - 0032 箕面市小野原西5-2-36
電話 (072) - 727 - 6912
ファクス (072) - 727 - 6920
Eメール info@mafga.or.jp

ニュージーランド国内

● ハット箕面友好ハウス(友好ハウス) Hutt Minoh Friendship House

住所 38 Normandale Road, Normandale,
Lower Hutt, New Zealand
電話 +64 (04) 570-6901
Eメール minohfriendshiphouse@huttcity.govt.nz

制作: 2014年3月

制作協力: 箕面市ハット市友好クラブ(ハットクラブ)

HUTT MINOH FRIENDSHIP HOUSE

ハット箕面 友好ハウス



ニュージーランド ハット市

箕面市民のための 交流・宿泊施設

ニュージーランド・北島の南端、首都ウェリントンの郊外にある人口10万のハット市。緑濃い丘陵に囲まれ、ハット川が街の中心を流れてウェリントン湾に注ぐ、景観に富んだ美しい街です。

ハット箕面友好ハウス（友好ハウス）は、その街並みを一望できる丘の中腹、原生植物が生い茂るジュビリー公園の中にあります。



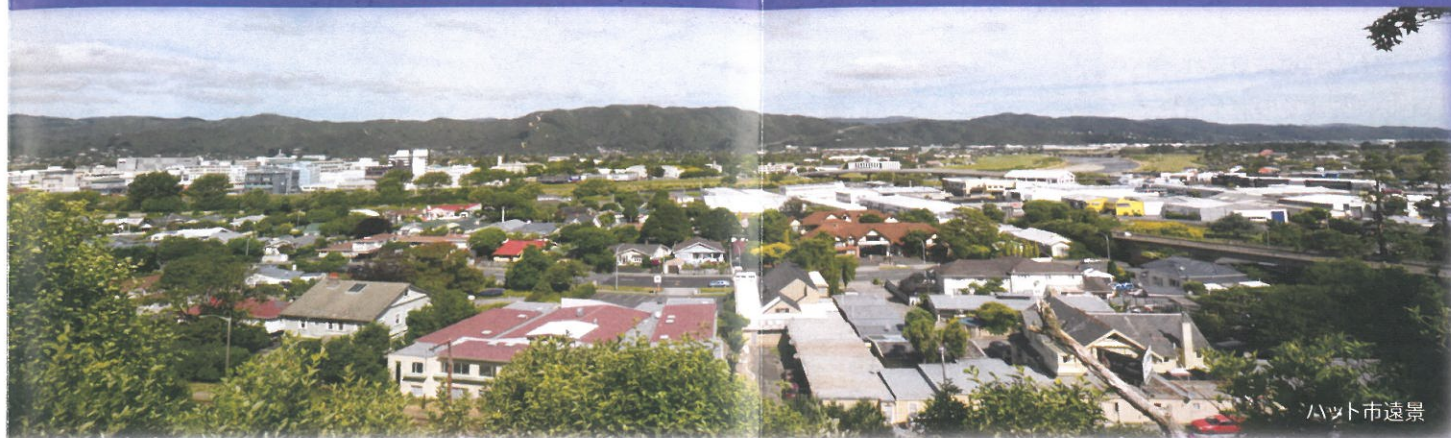
開設までの経緯

箕面市とハット市は1995年、国際協力都市提携を結び、教育・文化・スポーツなどのさまざまな分野で活発な交流活動を展開してきました。そうした両市の交流拠点として、1999年、この友好ハウスがハット市に開設されました。

もともとこの建物は、1904年、初代ハット市長の娘夫婦の新居として建設され、以来約100年にわたるロマンと戦争の歴史が秘められており、ニュージーランドの第一級建築物に認定されています。

この建物を友好ハウスに改装するにあたっては、ハット市だけでなく、箕面市民の寄付や日本万国博記念基金の助成など、日本側からも多くの支援・協力が寄せられました。

箕面市とハット市ー友好のシンボル



交流の拠点

箕面市民との交流を進めるハット市民団体「ハット箕面友好クラブ」が中心となり、さまざまな行事が企画されています。9月の桜の季節に開催される「お花見フェスティバル」では多数のハット市民で賑わいます。日本から市民訪問団や学生グループが来訪すると、ここで歓迎パーティが開かれるのが慣例です。最近では結婚式場にも利用されています。

また、毎週、日本語教室や生け花教室などが開催され、ハット市だけでなく広くウェリントン首都圏の日本文化センターとしての役割を果たしています。一階の畳の部屋には雛人形や五月人形などが常時展示されています。



宿泊設備

管理人は常駐していない自炊型施設です。現在、一階にシングルあるいはツインとして使用できる寝室が一室あります。誰でも利用できますが、箕面市民には割引が適用されますので、詳しいことは（公財）箕面市国際交流協会までお問合せ下さい。なお、友好ハウスの利用状況により、宿泊のご希望に沿えない場合がありますので、予めご了承ください。

